

生成AI Photoshopについて

この動画とスライドは
「2024年8月現在」です。



Photoshopの生成AIの使い方

Photoshopの生成AIは、画像編集の効率化とクリエイティビティの向上に大きく貢献する機能です。テキストによる簡単な指示で、画像の一部を生成したり、背景を変えたり、新しい要素を追加したりすることができます。

前回の復習ですが・・・

Firefly (ファイアフライ) は、Adobeが開発した画像生成AIです。

簡単な文章をもとに画像や装飾文字を生成します。

アドビ (Adobe) は、デザイナーの作品編集を支援する生成AIモデル群「ファイアフライ (Firefly)」を提供しています。生成AIは、テキストや入力情報からコンテンツを作り出すことができるテクノロジーです。



このFireflyの技術がそれぞれのアプリケーションに落とし込まれ始めています。



Illustrator (イラストレーター)

IllustratorのAI 機能には、次のようなものがあります。

テキストからベクター生成

簡単なテキストプロンプトから編集可能なベクターグラフィックを生成します。

拡大、縮小、再配色、グラフィックの個々の部分の編集などが可能です。



Photoshop (フォトショップ)

PhotoshopのAI 機能には、次のようなものがあります。

- ・生成 AI: 画像の内容を壊すことなく追加・拡張・置き換え・削除などを行えます。
- ・ジェネレーティブ塗りつぶし: 画像の特徴を解析し、自動的に画像の編集や修正を行うことができます。
- ・被写体を選択: 少ない作業で写真の主要な要素を分離できます。
- ・背景の追加: 写真に好みの背景を追加できます。



Lightroom (ライトルーム)

Adobe Lightroomは、Adobeが提供する有料の写真編集ソフトです。

写真の編集管理に特化しており、カメラマンが行う一連のワークフローに沿った機能が搭載されています。

LightroomのAI 機能には、次のようなものがあります。

ノイズ除去

撮影が難しい照明条件下で撮影した写真からデジタルノイズを除去します。

光量の少ない高感度撮影や、ビーチでの夕日や夜景、キャンドルライトでの誕生日パーティーなどの撮影時に便利です。



Premiere Pro (プレミアプロ)

Adobe Premiere Proは、動画の編集や加工、映像制作ができる動画編集ソフトです。YouTubeやInstagramなどのソーシャルメディアの動画作成から、ハリウッド映画の制作まで幅広く使用されています。

Premiere ProのAI 機能には、次のようなものがあります。

文字起こし
読み込んだ動画の音声を AI が自動認識してテキスト化します。



After Effects (アフターエフェクト)

Adobe After Effectsは、Adobe社が提供する映像のデジタル合成やモーショングラフィックス、タイトル制作を目的としたソフトウェアです。

After EffectsのAI 機能には、次のようなものがあります。

- ・コンテンツに応じた塗りつぶし: 動くものに対して AI が自然に塗りつぶします。
- ・スピーチを強調: AI を活用して音声の品質を向上させます。
- ・オーディオクリップの自動分類: オーディオクリップを自動で分類します。
- ・Depth Scanner: 自動深度推定のための人工知能ベースのプラグインです。



Adobe Express (アドビエクスプレス)

Adobe Expressは、デザイナーでなくても魅力的なコンテンツを作れるデザインアプリです。Webブラウザですぐに使用でき、テンプレートが豊富に用意されています。また、Adobe StockやAdobe Fontsと連携しており、直感的なUIでわかりやすいです。

Adobe ExpressのAI 機能には、次のようなものがあります。

- ・テキストから画像の生成
- ・テキスト効果の生成
- ・静止画像からビデオ、3D、ブラシ、ベクター、テクスチャなどのクリエイティブな素材の編集および生成



では、改めて

教室でPhotoshopで生成AI ※有料を使うポイント!

【基本テクニック】生成AIでできること!

・生成塗りつぶし

選択範囲を指定し、テキストで生成したい内容を入力することで、その範囲を新しい画像で塗りつぶすことができます。例えば、空の部分を雲や星に変えたり、背景を完全に異なるものに置き換えたりできます。

※ウィンドウから「コンテキストバー」

・生成拡張

画像の端を自然に拡張したり、既存の要素を拡大したりできます。例えば、写真の構図を変更したり、画像のサイズを大きくしたりできます。

※ウィンドウから「コンテキストバー」+キャンバスサイズの調整

生成AIの使い方

1. 範囲を選択: 生成したい範囲を、選択ツールを使って選択します。
2. 生成機能を選択: コンテキストタスクバーから「生成塗りつぶし」または「生成拡張」を選択します。
3. プロンプトを入力: テキストボックスに、生成したい内容を英語で入力します。

生成

「生成」ボタンをクリックすると、AIがプロンプトに基づいて画像を生成します。

調整

生成された画像を調整したい場合は、ブラシツールなどを使って微調整を行います。

より良いプロンプトを作成するコツ

・具体的に記述

「猫」ではなく「可愛い猫」、「宇宙」ではなく「星がたくさんある宇宙」など、より具体的な言葉を使うことで、より意図した通りの結果が得られます。

・スタイルを指定

「水彩画風」「鉛筆画風」など、表現したいスタイルを指定することで、雰囲気のある画像を作成できます。

・複数のキーワードを組み合わせる

「カラフルな花畑」「レトロな未来都市」など、複数のキーワードを組み合わせることで、より複雑なイメージを表現できます。

注意点

生成される画像の品質: プロンプトの表現力や、Photoshopのバージョン、マシンスペックなどによって、生成される画像の品質は異なります。

著作権: 生成された画像の著作権は、Adobeの利用規約に基づきます。商用利用する場合には、必ず利用規約を確認してください。

Adobeの生成AIは商用利用

一般に、生成 AI 機能からの出力は商業的に使用できます。ただし、アドビが生成 AI 機能のベータ版を商用利用できないと製品またはその他の場所で指定した場合、そのベータ版機能から生成された出力は個人使用のみを目的としており、商用利用することはできません。

その他

生成AIは進化し続けています: 定期的にアップデートが行われ、より高度な機能が追加され可能性があります。

他のAdobe製品との連携: Illustratorなど、他のAdobe製品と連携することで、より幅広いクリエイティブ作業が可能になります。

※Photoshop (フォトショップ) の生成AIは、バージョン25.0 (2023年9月13日) から実装されました。

まとめ

Photoshopの生成AIは、画像編集の新しい可能性を広げるツールです。

ぜひ、様々なプロンプトを試して、あなたのクリエイティビティを最大限に引き出してください。

ここからギアを上げていきましょう！
素材集めとして、活用していきましょう！！

これから作らねばならない就職活動に向けた
「作品素材」を集めるのに上手く活用してみてください。

